

中小・ベンチャー企業支援について(五反田パレーの現状について)

1. 五反田パレーの現状

- (1) 五反田パレーとは
五反田・大崎エリア周辺(五反田駅～大崎駅付近)に情報通信業やベンチャー企業、スタートアップ企業の集積
⇒平成28年頃より新聞やインターネット等のメディアに、「ITベンチャー企業・スタートアップ企業の集積地」「起業しやすいまち」等として注目・掲載
※アメリカのシリコンバレーにない「五反田パレー」と呼ばれる
- (2) 五反田パレーの情報通信業の集積状況
五反田・大崎地区の情報通信業は443事業所あり、区内情報通信業(831事業所)の半数以上を占める

	事業所数						従業員数			
	G 情報通信業		A～R全産業		情報通信業比率		G 情報通信業		A～R全産業	
	(A) (箇所)	(B) (箇所)	(C)=(B)/(A) (%)	(D) (箇所)	(E) (箇所)	(F)=(E)/(D) (%)	(G) (箇所)	(H) (人)	(I) (人)	(J) (人)
品川区(再掲)	20,123	831	4.1%	371,830	66,559	17.9%	18	80		
五反田・大崎	5,107	443	8.7%	140,672	31,466	22.4%	28	71		
東・西五反田	4,015	368	9.2%	80,084	16,781	21.0%	20	46		
大崎	1,092	75	6.9%	60,588	14,685	24.2%	55	196		

(資料) 総務省「平成28年経済センサス」より作成

(3) 五反田パレーへの立地経緯や課題 (※情報通信業実態調査結果より)

- ◇立地理由
・交通の利便性が良い
・30人～50人程度の入居に適するテナントビルが多い
・テナント入居賃料が他の地域よりも低賃料である 等
- ◇課題
・ITエンジニアの確保や人材育成などの「人材面」での課題
・既存の売上増加や取引先開拓といった「営業面」での課題
・新たな製品・サービス開発などの「事業面」での課題

2. これまでの区の情報通信業支援、五反田パレーに係る取り組み

- (1) 平成23年度～
◇ソフトウェリア開発助成(助成額100万円、対象経費の2/3助成)
- (2) 平成29年度～
◇情報通信業の企業間連携支援(情報クラスターフェア/交流会)
これまでの実施回数 5回開催
参加企業数 延636社
参加者数 延1,094名

(3) 平成30年度

- ◇一般社団法人五反田パレー設立、区と連携協定締結
区は、情報発信や地域課題の解決等を通して、五反田パレー地域全体の活性化を図ることを目的として、当法人と連携協定を締結



◇情報通信業実態調査実施

- 五反田パレーの立地状況や課題、支援ニーズ等を調査
※訪問ヒアリング調査 108社 郵送アンケート調査 180社回答

3. 情報通信業実態調査等をふまえた本年度の主な事業内容

- (1) AI・IoTイノベーション創出支援事業 **【新規】 36,401千円**
⇒新たな製品・サービス開発を支援(助成金交付等)
- (2) エンジニア確保支援事業 **【新規】 13,565千円**
⇒ITエンジニア確保に係る助成金を新設、イベント開催等
- (3) 五反田パレー情報発信・ネットワークづくり支援事業 **【新規】 3,000千円**
⇒HP(五反田計画)を開発、イベント開催等
- (4) 五反田パレー魅力発信事業 **【新規】 5,110千円**
⇒五反田パレーの活性化につながる事業を広く募集、助成金交付
- (5) 情報通信業事業者による展示会への共同出展 **【新規】 6,092千円**
- (6) 情報通信業向け創業融資制度の新設 **【新規】 4,294千円**
- (7) 情報通信業の企業間連携支援 **【継続】 7,638千円**
⇒シンポジウム、企業交流会、ビジネスマスマッチングを開催

4. 今後の取り組みの方針(五反田パレーの目指すべき将来像)

- (1) 「つながる街」
◇ネットワークの構築および販路開拓につながる支援の充実
◇新たなIT技術を活用した製品・サービス開発支援の充実
- (2) 「働きたい街」
◇認知度向上のための取組みや情報発信によるブランドイメージの定着とさらなる企業集積(エンジニアの確保につながる)
- (3) 「起業しやすい街」
◇創業機運の醸成とSHIP等を活用した創業支援事業の充実



伝統工芸産業の活性化について

1. 伝統工芸について

100年以上前から受け継がれた伝統的な技術や技法により製造された伝統工芸品は、風土や歴史に育まれた親しみやすさ、優れた機能性など、現代の日常生活に豊かさや潤いをもたらしているとともに、地域産業の発展や文化の振興に寄与している。

2. 品川区の伝統工芸品について

- ・東京桐箆笥
- ・和裁
- ・東京手描友禅
- ・漆工芸
- ・浮世絵摺り
- ・江戸すだれ
- ・江戸切り
- ・表具
- ・理美容鉸製造
- ・日本刺繍
- ・草木染手機織物
- ・他

※詳細は別添パンフレットを参照

3. 品川区の伝統工芸関連団体について

「品川伝統工芸保存会」

⇒伝統工芸の地位向上と後継者育成、事業の発展を図ることを目的として、昭和63年9月に発足

※令和元年6月現在、会員数23名

※区では当該団体と協力・連携(事業委託・補助事業等)を取りながら、伝統的産業の振興を図っている。



4. 主な実施事業について

I 展示

- ・ 伝統工芸品常設展示 (中小企業センター1階展示コーナー)

II 実演 講座 教室

- ・ 伝統工芸実演 (中小企業センター1階ロビー)
- ・ 伝統工芸ふれあい講座(表装裏打ち講座)
- ・ 伝統工芸ふれあい教室 (区内小学校での実演と体験)

III 伝統の技と味 しながわ展

- ・ きゅりあんイベントホールにて約20人の職人が一堂に会し実演する。(次回30回目の節目を迎える)

IV 関連団体への 助成

- ・ 品川伝統工芸保存会への販路拡大助成 (各種イベントでの実演支援、周知物制作)
【主な出展イベント】
 - ・都庁観光情報センター内
 - ・しながわ宿場まつり・大商業まつり他

V 今後の方向性

伝統工芸への理解・普及のため、今後も引き続き伝統工芸品を持つ日本らしさ、優れた機能性などの良さに触れ合う機会を設け、区民のみならず、2020年のオリンピック・パラリンピック開催に向け国内外から訪れる幅広い層をターゲットとして、品川の伝統工芸をPRしていくとともに、伝統工芸発展のための活動を支援していく。